

# かめやま KAMEYAMA 市議会だより

第 8 号

平成 18 年 5 月 1 日

発行・三重県亀山市議会

編集・市議会編集委員会

三重県亀山市本丸町577

☎ 0595 84-5059

URL

<http://www.city.kameyama.mie.jp/gikai/>



## 議会の主な動き

二月

2日 代表者会議

8日 総務委員会協議会

13日 産業建設委員会協議会

14日 三鈴亀農農業共済事務組合議会（菰野町）

〃 三重県市議会議長会総会（鳥羽市）

15日 全国高速自動車道市議会協議会総会（東京都）

17日 関西本線名古屋亀山間複線電化促進協議会

（名古屋市）

20日 全員協議会、政治倫理委員会、代表者会議

23日 議会運営委員会

三月

2日 定例会開会、議会運営委員会

10日 議案質疑

13日 一般質問（14日・15日と）

15日 議会運営委員会、全員協議会

16日 産業建設委員会

17日 教育民生委員会

22日 総務委員会

23日 予算特別委員会（24日と）

28日 議会運営委員会、定例会閉会、全員協議会

29日 鈴鹿亀山地区広域連合議会（鈴鹿市）

## 平成18年度予算規模

予算特別委員会で新年度の各予算を審査

10日の本会議で設置された予算特別委員会は、23日と24日の2日間開催し、まず委員長に桜井 勉委員を、副委員長に山川秋雄委員を選出し、各会計予算について慎重な審査を行いました。その結果、いずれの会計予算も賛成多数または全会一致で可決すべきものと決し、本会議に報告がありました。

なお、委員会の審査の過程で出された次の意見を市長に伝えました。

審査の過程で出された意見を尊重し、単年度会計予算の理念のもと、着実、かつ、効率的執行を図り、その効果が早期に反映されるよう、時期を見極めて適正に執行すること。

審査をした新年度各会計予算		(伸び率%)
一般会計	184億2,970万円	(△2.5)
国民健康保険事業特別会計	31億4,860万円	( 3.5)
老人保健事業特別会計	39億3,690万円	( 2.1)
農業集落排水事業特別会計	7億2,390万円	(△9.3)
公共下水道事業特別会計	15億7,160万円	( 8.4)
水道事業会計	16億3,030万円	( 9.3)
工業用水道事業会計	2億7,270万円	( 96.2)
病院事業会計	19億4,490万円	(△1.4)
国民宿舎事業会計	2億1,000万円	(△1.1)

平成十八年三月定例会は、二日に招集され、二十八日までの二十七日間の会期で開催しました。開会日には、市長から平成十八年度施政及び予算編成方針を、教育委員会委員長から教育行政の一般方針の説明を受けた後、議案の提案理由の説明が行われました。そして、十日には議案質疑を、十三日から十五日までの三日間は、市政に関する一般質問を行いました。また議案のうち、平成十八年度各会計予算の審査については、委員十六名で構成する予算特別委員会を設置し、その審査を付託しました。他の議案についても、それぞれ所管の常任委員会へ付託しました。

二十八日の最終日には、予算特別委員会委員長並びに各常任委員会委員長から付託議案の審査報告を受け、追加議案とともに採決の結果、原案のとおり可決、同意、了承等することに決しました。

### 三月定例会議案一覧

(議案第 号↓議、報告第△号↓報△)

可決した議案

条例の制定、改正

議3 亀山市国民保護対策本部及び亀山市緊急対処事態対策本部条例の制定について

議4 亀山市国民保護協議会条例の制定について

議5 亀山市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について

議6 亀山市障害者介護給付審査会の委員の定数を定める条例の制定について

議7 亀山市自然公園条例の制定について

議8 亀山市職員給与条例の一部改正について

議9 亀山市職員退職手当支給条例の一部改正について

議10 亀山市立公民館条例の一部改正について

議11 鈴鹿峠自然の家条例の一部改正について

議12 亀山市青少年問題協議会条例及び亀山市スポーツ振興審議会条例の一部改正について

議13 亀山市運動施設等条例の一部改正について

議14 亀山市総合スポーツ公園多目的グラウンド条例の一部改正について

議15 亀山市関B&G海洋センター条例の一部改正について

議16 亀山市関文化交流センター条例の一部改正について

議17 鈴鹿馬子唄会館条例の一部改正について

議18 亀山市関町北部ふれあい交流センター条例の一部改正について

議19 亀山市農業集落排水処理施設条例の一部改正について

議20 亀山市林業総合センター条例の一部改正について

議21 亀山市営住宅条例の一部改正について

平成十七年度補正予算

議22 平成十七年度亀山市一般会計補正予算(第五号)について

議23 平成十七年度亀山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)について

議案質疑・一般質問

発言通告の要旨

三月定例会に、各議員から通告があった議案質疑、一般質問の内容(要旨)は、次のとおりです。

掲載は質問順《 》は所属会派

議案質疑

宮崎勝郎《緑風会》

議案第七号亀山市自然公園条例の制定について

1 市民が触れ合う自然公園の運営管理をどのようにするのか

議案第十六号亀山市関文化交流センター条例、議案第十七号鈴鹿馬子唄会館条例、議案第十八号北部ふれあい交流センター条例、議案第二十号亀山市林業総合センター条例の一部改正について  
1 建設当時の目的をなぜ改正しなければならないのか  
2 使用料については、基本的には無料であるが、目的外は有料となるがなぜか  
3 営利目的の使用料はそれぞれの施設で異なるがなぜか  
議案第二十七号平成十七年度亀山市病院事業会計補正

予算について  
1 医業収益の減についてはなぜか

議案第三十八号議案第六十二号の指定管理者の指定について

1 学童保育所と地区コミュニティに指導員を配置するが、勤務形態をどうするのか  
2 協定について基本協定と年度協定を結ぼうとしているがなぜか  
3 それぞれの施設における改修費がことなるがなぜか  
4 それぞれの施設における使用料が表わされているのとなぜか

議案第二十九号平成十八年度亀山市一般会計予算について  
1 新市まちづくり事業等の取り組みと、総合計画を立てるための予算は組まれているのか  
2 この予算は積極的な部分があるのか

あるのか

議案第三十五号平成十八年度亀山市工業用水道事業会計予算について

1 この予算は赤字であるがよいのか

水野雪男《親和会》

議案第二十九号平成十八年度亀山市一般会計予算について

1 国の三位一体改革が十八年度予算に与えた影響をどうみているのか  
2 自主財源比率の伸びのあるなかで、これからの財政見通しをどう考えているのか  
3 合併特例債借入予定三事業の予定額と今後の借入事業をどうみているのか。併せて今後の起債について尋ねる

4 指定管理者制度導入は経費節減となるのか。また、今後の公の施設の指定の進め方を問う。さらに、外郭団体の指導育成について聞く

5 職員の給与条例と退職手当支給条例の改正によって人件費はどうか変化するのか

小坂直親《関和会》

議案第三号、四号

1 組織、委任、市の主な役割

議24 平成十七年度亀山市老人保健事業特別会計補正予算(第一号)について

議25 平成十七年度亀山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)について

議26 平成十七年度亀山市公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)について

議27 平成十七年度亀山市病院事業会計補正予算(第一号)について

議28 平成十七年度亀山市国民宿舎事業会計補正予算(第一号)について

平成十八年度予算

議29 平成十八年度亀山市一般会計予算について

議30 平成十八年度亀山市国民健康保険事業特別会計予算について

議31 平成十八年度亀山市老人保健事業特別会計予算について

議32 平成十八年度亀山市農業集落排水事業特別会計予算について

議33 平成十八年度亀山市公共下水道事業特別会計予算について

議34 平成十八年度亀山市水道事業会計予算について

議35 平成十八年度亀山市工業用水道事業会計予算について

議36 平成十八年度亀山市病院事業会計予算について

議37 平成十八年度亀山市国民宿舎事業会計予算について

その他

議38 40 指定管理者の指定について

井田川小・亀山東小・関小学校区の学童保育所の管理について、各運営委員会を指定管理者として指定

議41 57 指定管理者の指定について

各地区コミュニティセンターの管理について、各地区コミュニティの団体を指定管理者として指定

議58 62 指定管理者の指定について

石水溪キャンパス場内各施設、都市公園、運動施設、文化会館及び中央コミュニティセンターの管理について、亀山市地域社会振興会を指定管理者として指定

について

- 2 委員構成、会長の職務代理、会議条項について
- 議案第五号

- 1 任命権者、報告事項、第六項、第七項について
- 議案第六号

- 1 審議会の報酬について
- 議案第七号

- 1 自然公園の定義について
- 議案第十号
- 1 公民館とコミュニティの活動内容について
- 議案第十六号、議案第十七号

- 1 使用料について
- 議案第二十二号
- 1 補正予算の編成について
- 議案第三十八号、議案第六十二号

- 1 業務仕様書、基本協定書について

**池田依子《市民クラブ》**

- 議案第二十九号平成十八年度亀山市一般会計予算について
- 1 子育て支援施策の取り組みについて

- ① 新しい施策が取り組まれているが、どのような考えから取り組まれたのか
- ② DV相談員配置について、

こども総合支援室設置後の

検証により配置されたのか

- ③ 予算措置の考え方について
- ④ 学童保育所の公設民営の考え方について
- 2 携帯電話によるメール配信事業について

- ① 広報での配信の考え方について
- ② 危機管理室との連携の考え方について

- ③ 広報と教育委員会との連携について
- ④ 一人で複数のメールへの配信はできるのか

- 議案第七号亀山市自然公園条例の制定について
- ① 環境再生事業とはどのような事業であったのか、考え方について確認

- ② 自然公園条例の位置づけがなぜ必要なのか
- ③ 今後の自然公園の設置の考え方について
- ④ 公園管理の考え方について

**大井捷夫《きせき会》**

- 議案第二十九号平成十八年度亀山市一般会計予算について
- 1 新年度予算の編成は新市の「自立した五万都市を目指して自らの知恵と工夫に

よって地域を活性化するための行政経営を進める」ために特に重点を置いて取り組む施策から新年度予算に反映した点について

- 2 産業振興奨励金について
- ① 産業振興条例に基づいての支出見込みについて
- ② 現制度の見直しについての考えはないか
- 3 自主財源と依存財源について
- 4 一般会計から特別会計へ繰り出しの推移について

- 議案第三号亀山市国民保護対策本部及び亀山市緊急対処事態対策本部条例の制定について及び議案第四号亀山市国民保護協議会条例の制定について
- 1 基本認識について
- 2 有事法制の一環であると思いがこれに対する見解について
- 3 大規模自然災害など非常事態に対する法体系の整合性について
- 4 国民の保護に関する計画立案はどの様に進めるのか
- 5 これらに関する予算的な措置はどうなるのか

- 議案第三十八号から議案第六十二号指定管理者の指定

議63 市道路線の認定について

議64 三重地方税管理回収機構規約の変更について

議65 三重県自治会館組合規約の変更について

議66 財産の取得について

議67 非核平和都市宣言について

議68 人権尊重都市宣言について

議69 暴力追放都市宣言について

議70 交通安全都市宣言について

議員提出議案第2号 亀山市議会委員会条例の一部を改正する条例について

議員提出議案第3号 道路特定財源の確保に関する意見書の提出について

同意した議案

議71 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

任期満了となる布留裕成氏の後任に伴い 豊氏を推薦し承了した報告

報1 専決処分報告について

報2 寄附受納について

寄附を受けた報告

承認した報告

報2 専決処分した事件の承認について

**宮崎伸夫《親和会》**

- 1 指定管理者選定委員会の審議経過について
- 2 非公募制となるがどうしてこの様な形をとったのか
- 3 今回七種(二十五件)の提案がなされたがこれら以外の公の施設について行政改革の観点からどの様に進めるのか

- 議案第八号亀山市職員給与条例の一部改正について
- 1 この条例の改正の目的について
- 2 中高年齢とはどの層を言うのか

3 現給補償の措置とその期間について

4 地域手当と調整手当の違いと支給格差について

5 給料のフラット化の目的と将来の給料について

・例えば高卒・大卒の標準額で十年、二十年、三十年後

議案第九号亀山市職員退職手当支給条例の一部改正について

1 中期勤続者と長期勤続者の支給見直しの目的について  
2 貢献度により調整額加算措置を行う目的とその評価方法について

3 この制度の導入により他市との比較はどうか

**服部孝規** いずれの会派にも属さない

議案第八号亀山市職員給与

条例の一部改正について

1 給料表を四・八%引き下げるのは人事院勧告に基づくものだが、どういう理由で引き下げるのか

議案第九号亀山市退職手当条例の一部改正について

1 国家公務員の退職手当制度が改正されたことを理由としているが、国が変えれば地方も変えなければならぬのか

議案第三十五号平成十八年度亀山市工業用水道事業会計予算について

1 今後の財政収支見通しで単年度収支が黒字になるのはいつか。また、累積赤字が解消されるのはいつになるのか

**小川久子** いずれの会派にも属さない

議案第三号亀山市国民保護対策本部及び亀山市緊急対応事態対策本部条例の制定について

1 市が市民に対して責任を負わなければならない緊急対応事態とは、いかなる場合があるのか  
2 市がこの条例を制定しないとするかどうか

議案第四号亀山市国民保護協議会条例の制定について

1 協議会組織の構成員はどうなるのか  
議案第二十九号平成十八年度亀山市一般会計予算について

1 市税収入の伸びが大きいがその要因として何があるのか  
2 税収入が増えたのは、地方税法の改正による市民増税があるのではないか。その

内訳はどれだけか

**櫻井清感** いずれの会派にも属さない

議案第二十九号平成十八年度一般会計予算について  
1 第四款・衛生費・第一項・保健衛生費・第十九節負担金補助及び交付金の内、インフルエンザ予防接種費助成事業（五百万円）について一歳より就学前の児童とあるが、合併後の調整により旧市町の制度の違いをどのように整合したのか  
2 地方交付税の明細について

**一般質問**

**中村嘉孝** 《関和会》

地方分権について（地方分権一括法関連）

1 地方分権一括法が施行され、五年以上経過したが、現亀山市に於て、地方分権の推進はどのようなメリットがあったか  
2 必置規制の廃止や緩和による亀山市への影響は  
3 分権化による建築確認事務の自治事務への位置付けについて（亀山市の現状）  
1 高齢者福祉について  
1 介護保険制度の大幅な改正

による「地域包括支援センター」の設置について

2 高齢者保健福祉計画の策定にあたっての趣旨及び計画の基本理念は  
3 高齢者虐待の防止及び高齢者の養護者に対する支援等に関する法律が本年四月から施行されるが、市としての対応は

4 亀山市の高齢者移送サービス（通院サービス）の現状は  
1 障害認定審査会の組織構成及び内容は  
2 「地域生活支援センター」の役割は  
3 障害福祉計画策定が制度化され、又数値目標も計画の中に導入が義務化されるが、どう対応されるのか  
4 補助金制度の見直しについて（国庫負担金、調整交付金）  
1 発達障害者支援法について  
1 教育委員会部局に於ての特別支援教育体制の整備について（特別支援コーディネーターの配置）

**片岡武男** 《市民クラブ》

林業・農業・土地の問題解決・支援について

1 現存する『要問伐森林勧告制度』の適用は  
2 田・畑・宅地等の荒廃地に「要問伐森林勧告制度」の様な制度を確立して荒廃防止計画は

3 個人土地所有者には生活の為なら、自由選択制による家庭菜園用地への売却・購入への規制緩和への考え方は（補助事業の耕地整理済用地及び、山林・農地目的で購入は一定期間含まず）  
4 住宅用地の固定資産税の課税を現状の二百平方メートル迄を1/6を三百〜四百平方メートル迄拡大減免して家庭菜園と駐車場確保への必要性は

官から民への施設移管状況と今後の計画について  
1 過去三年間の官から民への施設委譲実績は  
2 これは民間でも良かった等、反省と計画を含め進捗状況は

1 白鳥伝説の交流事業と関連  
2 三市で同一共同制作モユメント作成建立と、のぼりの森公園用地の再開発計画は

(日本武尊の等身で銅像等)

### 森淳之祐《緑風会》

公共施設の整備について  
1 耐震診断結果もふまえた中で、庁舎は勿論のこと幼稚園、保育園、学校その他の公共施設の整備計画を伺いたい

幼保の一元化について  
1 幼稚園、保育園の一元化の推進についての行政側の考え方を伺いたい

住環境の整備施策について  
1 定住化促進のための今後の施策は何か考えているのか  
課、係制から部、室制への再編について

1 部長、室長の役割と市長が求めるものは  
家庭用新エネルギー普及支援事業について

1 今後この事業の活用、促進をどのように図って行くのか

### 宮崎伸夫《親和会》

交通対策について

1 市内運行バスと三交バスの問題について

2 市内全体を網羅する方法について  
無形文化財について

1 鈴鹿馬子唄、葛葉太鼓等の保存について  
川崎小学校の改修について

1 現在の川崎小学校の不便さの解消について  
農村の取り組みについて

1 市において農業集落の位置づけについて  
2 高齢化に対する農業のあり方について

3 趣味と実益をかねた農業について

### 打田孝夫《きせき会》

東名阪スマートインターの存続について

1 現在シャープ関連の利用者が大部分であり、存続するためには、市とシャープが歩調を合わせて要望する考えは  
2 一般道の混雑解消のためにも

1 各学校のグラウンドの特にクラブ活動などで常時利用する中学校のグラウンド  
排水について

2 造成中の西小学校のグラウンド  
成人式の記念写真の撮影について

1 記念撮影をして参加者全員

に寄贈しては

1 十七年度公共事業の入札状況について  
1 十七年度の公共事業のランク別件数は

2 Cランクの件数は

### 加藤正信《関和会》

名阪国道について

1 名阪国道のインターチェンジについて  
2 周辺の道路改良について

町並み保存について  
1 町並み保存地区（伝統的建造物群保存地区）保存事業の現況は

2 町並み保存対策室を設置する考えは  
3 生活道路としての裏道対策は

### 松上 孝《市民クラブ》

移動図書館の廃止について  
1 移動図書館を全廃した主な理由は何ですか

2 移動図書館を廃止した結果何がどうなりますか  
人、物、金

3 移動図書館を廃止後の予約サービス等対策は何かお考えですか

4 市内各地区コミセン、幼稚園、老人施設等にミニBM

ステーション（固定）を提案される考えはありませんか

ご近所お困り相談より  
1 うるさい自動車騒音

2 道路、河川に散乱するゴミ  
3 一日中上る黒い煙

以上、通じて現状把握とその対策と効果は

指定ゴミ袋導入事業について

1 「住民意識調査」の実施内容とは

2 実施に当たっての更なる検討とは

3 近接市の認定ゴミ袋の扱いは

### 宮崎勝郎《緑風会》

市庁舎の整備について  
1 庁舎の耐震補強をどのようにするのか

2 庁舎の移転、建設はどのように考えているのか  
フェロシルトの撤去について

1 現在までの経過と、今後計画どおりに撤去が出来るのか

市街地の整備について  
1 本町地域を今後どの様に考えているのか

2 本町地域の商店街をどうするのか

3 東町地域の空き店舗をどのように生かしていくのか

4 旧東海道の和田～野村までの整備は歴史的に考えて行くのか

5 寄付受納の館家の整備保全是今後どのようにしようと考えているのか

自然の森公園について

1 本年度予算においての調査結果はどうだったのか

2 今後における計画はどうするのか

新市のバス等生活交通の再編について

1 廃止路線地域の予約バスの利用率はどのようであるのか

2 市域全体のバスの検討は進んでいるのか

3 福祉バスの導入は出来ないのか

農業の振興について

1 意欲ある担い手農家の育成をどのように図っていくのか

2 集落営農組織の育成はどう考えているのか

3 地産地消を今後も推進していくのか

安全安心のまちづくりについて

1 災害対策における避難所、

避難路の整備はどうなっているのか  
2 新市の防災計画は進んでいるのか  
3 学校保育所における防犯対策及び児童生徒園児の登下校の指導は万全か

水野雪男《親和会》

市庁舎の建設について  
1 市庁舎の建設について市長の考え方を問う  
2 市庁舎建設検討委員会(仮称)を設置し、その方向を求めてはどうか  
3 市庁舎建設を目的とした建設基金を創設についてどう考えるのか

第三工区の造成についてどう考えるのか  
2 工業用水確保についてどう思っているのか

小坂直親《関和会》

1 家族もち世帯定住定着策を進めるべき時期ではないのか  
2 子弟の専門教育等教育環境の整備を進めるべきではないか  
3 少子化対策のため検討の場を設置し、総合的な出生率向上への施策を研究しては更なる地域産業振興策について

1 「自立型」地方自治への展望について  
2 今後の指定管理者制度の導入について  
3 産業の振興と森林づくりに  
4 閑宿賑いづくり基本方針の策定について

1 荒廃農地への取り組みについて  
2 品目横断経営安定対策制度の取り組み  
3 集落営農の現状と課題について  
4 農地・水・環境保全への工

1 導入についての研究検討結果について  
2 今後の取り組みと導入する姿勢について  
都市計画について

1 伝建地区と都市計画との整合について  
2 都市計画税の意義と目的に

ついて

前田耕一《市民クラブ》

自然の森公園整備事業について  
1 事業の進捗状況について  
2 計画の具体的構想について  
3 里山イベント開催の目的について  
安心・安全のまちづくり  
1 防犯対策担当室等の設置について  
2 屋外公共施設等(公園・キャンプ場)の犯罪及び危険防止対策について

国分修《親和会》

(平成十八年度施政方針から)  
組織・機構の改革について  
1 職員の意識改革への取り組みと改革のねらいは  
産業の振興について  
1 農業振興への具体的施策  
2 商業振興への具体的施策  
健康・福祉の充実について  
1 学童保育所の設置効果と今後の充実について  
生活基盤の充実について  
1 新市のバス等生活交通の再編について

1 公的施設の耐震診断と助成について

について

2 高齢者住宅の支援事業の実績と今後の取り組みについて

自然エネルギーの活用促進について  
1 家庭用新エネルギーの普及と支援事業について(計画と目標)

池田依子《市民クラブ》

事業の仕分けの推進について  
・徹底した歳出見直し・削減が先決、徹底的に行政の無駄を省く為に、市の全事業を洗い直す「事業仕分け」の実施について  
1 事業の現状認識  
2 必要な事業であるのか否か  
3 行政がやるべき事業か、民間がやるべきものか  
4 市がやるべきものか、県が国がやるべきものか  
5 現行通りでいいのか改善すべきか  
・外部の人を交える  
・公開の場を設ける  
公営住宅のあり方  
1 公営住宅の今後の方向性は  
2 少子高齢化の中での公営住宅のあり方について  
3 公営住宅法の改正について

亀山市の裁量は

伊藤彦太郎《いずれの会派にも属さない》

土地の利用について  
1 三重県による工場用地探しについて  
新年度から三重県が、工場立地の用地不足が深刻化している北勢・伊賀地域を中心に、関係市町に呼びかけて用地確保に向けた調査に乗り出すということであるが、この県の姿勢に対する亀山市としての対応は

2 荒廃農地対策について  
荒廃農地対策は、四月から農政室のみで行っていくのか

小川久工《いずれの会派にも属さない》

フェロシルト問題について  
1 当初説明された一月からの撤去作業がいまだに始まっていないがなぜか  
2 八月末に撤去完了という約束は守られるのか  
3 周辺への環境への影響は心配ないのか  
バス問題について

1 井田川、川崎方面から公共的施設(のぼの公園、石水溪方面、医療センター、あいあい、図書館、市役所、

商店街等）へ行く交通手段がないが、どのように考えているのか

2 市は十九年度交通路線再編を目指しているが、どんなものを考えているのか

3 路線が市域を超えるものについて、鈴鹿市との協議はしているのか

4 バスの利用を高める為に、地域の人から乗りたい形態やルートを開き取ることが欠かせないと思うが、計画はどのように進めるのか

服部孝規 いずれの会派にも属さない

市内公共施設への新市章の取り付けについて

1 すべての公共施設に新市章を取り付ける理由は何か。特に学校や幼稚園ではこれまで市章がなくても問題がなかったのに、なぜ、今取り付けるのか。また、その財源、予算措置はどうしたのか

2 西小学校の新市章は二百二十万円もかかっているのに、他の学校や幼稚園などでは平均五万円で設置される。同じ市内の学校や園でありながらこれだけの差がつくことを市民にどう説明する

の  
か  
改悪された介護保険制度について

1 今度の介護保険法の改悪で保険料が引き上げられるが、今後の保険料はいくらになっていくのか

2 新予防給付の導入で介護保険の適用からはずれる人が出るが、問題は生じないのか

3 高齢者に対する税や保険料などの負担増は年々ひどくなっているが、介護保険についても保険料や利用料の実効性のある減免制度が必要だが、その考えはないのか

櫻井清蔵 いずれの会派にも属さない

施政方針について

1 十八年度予算編成において伊勢新聞記者会見に「金持ち緊縮型予算」といわれたが、真意は

2 合併後一年がすぎ、旧市町の住民の満足度をどのように認識されているのかを知りたい

3 市内小中十四校、幼稚園七カ所のグラウンドについて均等に充足しているとお考えか

質疑と答弁

提出議案に対する質疑者とその主な内容は、次のとおりです。  
10日 宮崎勝郎、水野雪男、小坂直親、池田依子  
大井捷夫、宮崎伸夫、服部孝規、小川久子  
櫻井清蔵

議案第3号

亀山市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について

問 国民保護法はいわゆる有事法制の一環であると思うが、自治体によってはこの有事法制に反対して、これに協力しないところもあると聞くが、この見解を尋ねる。

答 国民保護法は有事法制の中核と位置づけられる事態対処法に基づいて制定されている。

市も、万全な危機管理体制の整備の観点から、市民の生命、身体、財産を保護する責務を有し、国の法律に基づき体制の整備と適切な計画を作成するため、条例を制定するものである。

問 この条例を制定して、市

が市民に対して責任を追わなければならぬような緊急対処事態とは、どういうものなのか尋ねる。

答 武力攻撃事態及び緊急対処事態の想定は、平成十七年三月に閣議決定された国民の保護に関する基本指針によるものである。武力攻撃事態は、上陸侵攻、ゲリラ、弾道ミサイル、航空機攻撃などがある。

また、緊急対処事態は、危険施設、集客施設・駅などへの化学兵器、航空機自爆テロなどが想定されている。

議案第7号

亀山市自然公園条例の制定について

問 この条例の制定の背景と趣旨は説明されているが、この条例の自然公園と自然公園

法に定める自然公園との整合をどのようにとるのか伺う。

答 平成十五年度より整備を行ってきた環境再生事業は、本年五月の供用開始を予定している。供用に先立ち公の施設としての位置づけが必要であることから、広く市民に利用してもらうことを目的に本条例を制定するものである。

また、条例制定の背景としては、本市環境基本条例と環境基本計画における環境学習の場の創出があり、その趣旨は国の自然公園法に類するものと考えている。



自然公園「亀山里山公園」

**問** 環境再生整備事業として整備されたこの公園の運営管理をどのようにするのか。特にボランティア団体とか地元自治会の協力を求めるのも一つの方法と思うが。

**答** 管理は、臨時職員を雇用し、直営で水、植栽、除草、小修繕などを日常的に行う。日常以外の作業は、シルバー人材センターや自治会を始めボランティア団体、NPOなどの協力を得て、地域で公園を維持管理できる地盤づくりを検討していく。

議案第8号

亀山市職員給与条例の一部改正について

**問** 国に準じて給与を引き下げるとのことだが、国は引き下げで得た財源で新たな給料等級を作っている。当市にもこれに見合う措置をしたのか。市と国とは、級別の職員構成が異なっている。国家公務員に対する人事院勧告の給料表をそのまま市にあてはめて不都合は生じないのか伺う。

**答** 昭和三十二年に公務員の給与制度が確立して、今回、五十年ぶりに抜本的な給与構造の大改革が行われた。この改革に合わせて、当市に合った給与体系を独自で作ることは無理である。当市の職員給与は、今まで国に準じてきたところであり、今後も国に準じていくことが、将来にわたって安定して運用できるものと考えている。

**問** 新しく導入される地域手当と現行の調整手当との違いを伺う。また、医師に対してのみ支給している調整手当はどうなるのか。

**答** 今回、新しく導入予定の地域手当は、民間との賃金格差を適切に反映し、均衡を図るための手当である。この地域手当は、平成二十一年度末までに段階的に四％に引き上げるもので、従来の調整手当に替わる手当である。

なお、医療センターの医師に対してのみ支給している二十％の調整手当は廃止して、新しく二十％の地域手当を支給することになる。

議案第29号

平成十八年度亀山市一般会計予算について

**問** 市営斎場整備、市道と賀白川線整備及び市道亀山関線整備の三建設事業に対して、合併特例債をどれだけ活用するのか。

**答** 合併特例債を一般事業として建設事業に活用できる市の事業費は百一億三千万円である。このうち、市営斎場整備に二十三億円、市道と賀白川線整備に二十一億円、新たに市道亀山関線整備に十四億円を予定している。この三事業で計五十八億円を見込んでいることから、今後、活用できる事業費としては、四十三億三千万円である。

**問** メール配信事業は、個人の携帯電話に災害情報や不審者情報等を直接配信するとのことであるが、なぜ広報から配信するのか。

**答** 計画しているメール配信事業は、不審者情報に特化したものではなく、災害情報やイベント開催案内などの情報も提供する予定である。防犯、防災、災害及び市からのお知らせなど配信する情報が多岐にわたることから、全庁的な視点で取り組む必要があると判断した。

また、配信する情報は、事実確認がとれた正確な情報であることが基本であり、関係各課や警察などとの連携は不可欠であると考えている。

**問** インフルエンザ予防接種助成事業における助成対象者が、一歳から就学前までの幼児となっているが、旧関町に

おいては六十四歳以下すべての住民が対象であった。合併後、旧市町の異なる制度をどのように調整したのか。

**答** 助成対象については、インフルエンザワクチンの医学的見地からの有効性、健康づくり委員会や合併協議会で出された意見などを踏まえ調整した。その結果、インフルエンザに感染すると重症化する恐れのある心臓疾患や肝臓疾患などの方やインフルエンザ脳症を発症しやすい一歳から就学前の幼児を助成対象として、新年度から統一した制度としてスタートさせた。

質問と答弁

15日	前田耕一、国分 修、池田依子、伊藤彦太郎	小川久子、服部孝規、櫻井清蔵
14日	加藤正信、松上 孝、宮崎勝郎、水野雪男	小坂直親
13日	中村嘉孝、片岡武男、森 淳之祐、宮崎伸夫	打田孝夫

市政に関する一般質問の質問者とその主な内容は、次のとおりです。

市街地の整備について

**問** 本町地域に活気がなくなってきたが、この地域の活性化に向けてどのように

考えているのか。また、東町商店街では、空き店舗が多く見られるが、空き店舗を生かした東町の再生は図れないか。

**答** 本町地区の人口を見ると、二十五年間で約四割の人口減となっている。郊外に新興住宅地が形成され、若い世代の流出が進み、高齢化率も高くなり、かつてのにぎわいを失った。商業の振興を図るには、

個店の経営改革が必要であり、商業振興策の中で支援したい。また、東町商店街の振興を図る上で、空き店舗を貴重な経営資源ととらえ活用していくことは重要である。活用については、振興組合、商工会議所、関係課と研究を行ってまいりたい。

### 川崎小学校の 改修について

**問** 川崎小学校は、段差が多く、使い勝手が悪い。給食の時間には、台車で給食が運べないため、入れ物などで各教室に持ち込んでいる。抜本的な改修はできないか。

**答** 川崎小学校は、平成七年三月に、児童数の増加に対応するため、第一棟を増築したが、この時、設計の段階から学校とも協議を十分行った。今後、第三棟の改築事業の実施時に解消できるものと考え

ている。なお、平成十八年度に計画している耐震化事業は、現在の第三棟を改修する予定である。しかし、段差の解消などについては、耐震化事業の中で実施するのは非常に難しい状況である

### 幼保一元化について

**問** 当市は、幼稚園と保育園の機能を統合する幼保の一元化に向け、人事交流などを進めてきたが、こうした実績を踏まえ、さらに他市に先がけて推進する考えはあるのか。

**答** 幼保一元化は、現在、国において就学前の教育と保育を一体とした総合施設の設置について審議されており、今国会に法案が提案される見込みである。当市は、平成九年四月から人事交流を行っており、今後も人事交流を推進していきたい。また、施設の共用化による幼稚園と保育園双方の機能を活かした弾力的な運営ができるように保健福祉課と教育委員会とが研究協議を行っていく。



幼保合築の園舎「関乳幼児センターアスレ」

### 公共施設への新市章の 取り付けについて

**問** 西小学校の新市章の設置費用は二百二十万円となっているが、他の学校や幼稚園などでは平均五万円となっている。なぜこのような差がついたのか。

**答** 市章の設置費用が西小学校と他施設とで差が生じたのは、西小学校については、校舎改修事業で市章を設置することから、耐久性のある仕様としたためである。また、取付ける場所が西小学校のシンボルとなる時計塔であることから設置に要する費用が大きくなった。

### 高齢者移送サービス について

**問** 通院や日々の買い物などで公共交通を利用できない高齢者の方に対する移送サービスの現状を伺う。また、この移送サービスを拡大する考えはないか。

**答** 通院サービスとしては、高齢者と障害者に対する移送サービス及び介護保険における移送サービスを国のガイドラインに基づき実施している。また、道路運送法の改正によりNPOや社会福祉法人など非営利法人が福祉有償運送の許可を得るため、現在手続きを行っているところである。高齢者移送サービスの拡大は、福祉有償運送の許可を得た非営利法人による拡大が可能と考えている。

### バス問題について

**問** バス交通路線再編に当たって、市民の利便性を高めるため、地域の人から広く意見を聴き、その意向を反映して運行形態や運行ルートに再編をするのか。

**答** 平成十九年度を目標年次とする地域生活交通の再編において、幅広く市民の意見を聴くことは、市の考え方を取りまとめていく上で、有効な手段であると考えている。検討を進めるに当たっては、アンケート調査結果や乗降調査時のヒアリング結果及び地域懇談会での意見など、これまでに蓄積した情報を活用し、必要に応じて市民理解を得るための機会も考える。

### 生活基盤の充実 について

**問** 新市のバス等の交通再編について、市民の期待に沿える施策が打ち出されていない現状をとらえ、今後どのように取り進めていくのか。

**答** 新市のバス等路線については、平成十九年度の地域生活交通の再編時まで暫定的に運行している。各地域において不満があることは十分認識しているが、個別需要をすべて満たす交通手段の確保は物理的に難しい。市民生活に密着した課題であるので、庁内検討組織で少しでも早く再編に向けた方向

性をまとめた。

### 東名阪スマートインターの存続について

**問** 東名阪PAスマートインターの利用者の多くは、シャープ(株)亀山工場の建設工事に伴う車両である。工場完成後もインターが存続するように、市とシャープが歩調を合わせて、国等の関係機関に要望活動をする考えはないか。

**答** 東名阪亀山PAスマートインターは、昨年の十二月十七日から社会実験を開始し、約二カ月半が経過した。利用車両数は順調に増加している。また、周辺地域の交通渋滞が緩和され、ぜひ恒久化を目指してほしいとの意見もある。

スマートインターの恒久化について、関係省庁へ陳情活動を行ってきたが、今後も更に、官民一体となって国及び中日本高速道路(株)に強く要望していく。

### 町並み保存について

**問** 関宿は昭和五十九年、伝建地区に選定されてから、町並み保存会、案内ボランティア



東名阪パーキングエリア「スマートインターチェンジ」

ア、町筋の方々など町並み保存に努力されてきたが、現在の状況を尋ねる。

以前から要望してきた、町並み保存対策室、専門の室を設置するよう言ってきたがその考えは。

**答** 保存事業は、修理修景事業を中心に進めてきた。平成十六・十七年度には、国庫補助事業として、十件の事業を実施してきた。

一方、地域の活動状況は、関宿町並み保存会・案内ボランティアの会・関の山車保存会が積極的に活動している。

昨年十二月には国土交通省の「手作り郷土大賞」を、本年三月には町並み保存会が「三重県文化賞」の受賞が決まるなど、各分野から評価も

高まっている。  
また、四月から「まちなみ・文化財室」として室を設置する予定である。

### 伝建地区と都市計画について

**問** 昭和四十四年に、関地区が都市計画区域に編入され今日に至っている。都市計画法でいう理念と、町並みの伝統建造物の地域については、文化財保護法が優先して、手がつけられず非常に不整合が生じている。

今回、都市計画法が導入されるが、この地域の建物は非課税扱いとするなら、都市計画法を猶予する考えがあるのか。

**答** 伝建地区の建物は、地方税法の規定により固定資産税は非課税扱いとなるが、土地については課税扱いとなる。

平成十八年度から都市計画法を課税することは、合併協議会で調整されたが、伝建地区の都市計画法を免除することについて議論はなかった。

### 工場用地の確保について

**問** 工場用地の不足が深刻化し、県は用地確保に向けて調査することだが、市としての対応は。

**答** 三重県では工場進出需要に対する用地不足が課題となってきた。市としてはこれまで同様、民間の産業インフラをフルに活用する姿勢で臨んでまいりたい。まずは亀山関テクノヒルズへの企業誘致に取り組みながら、他に民間が整備するインフラ活用の可能性について研究をしてまいりたいと考えている。

### 自然の森公園整備事業について

**問** 自然の森公園整備事業は着実に進展しつつあるものと考えるが、現在の事業の進捗状況と計画の具体的な構想について尋ねる。

また、里山イベントの開催も計画されているが、開催の目的と具体的な内容について伺う。

**答** 自然の森公園は、既存の自然地形を生かし、市民がかわり、育てていく特色ある公園づくりを進めるため、継

続的な調査・研究を続けてきた。今後は、維持管理も含め市民と行政、専門家らと協働で進めることができる仕組みをつくっていききたい。

里山イベント開催については、自然に親しむきっかけづくりとして、まずは今月、和賀山市有林で、散策や木工などのイベントを実験的に開催予定であるが、来年度はより多くの方が参加いただける形で考えていきたい。

### 市庁舎の建設について

**問** 市庁舎は行政のセンターで、市民へのサービス、そのための機能性や駐車場の狭隘また新年度から部・室制へ移行に伴う広さの問題、さらに天災等災害発生の場合は災害対策本部の設置場所となる。これらを考えると新庁舎の建設は避けて通れない課題である。建設となると相当の検討期間が必要であり、早期に市庁舎建設検討委員会的なものを設置し、検討を開始すべきだと思いがどうか。

**答** 市庁舎について新市まちづくり計画では、行政機能の